



# 学校だより

11月号令和6年10月31日発行

江戸川区立下小岩小学校

校長 鶴田麗子

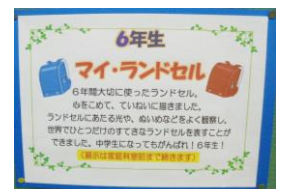
下小岩小学校 学校ホームページURL <https://edogawa.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1310306>

## 一言の重み 言葉を大切に作る心の育成

副校長 高橋雄一

いよいよ明日・明後日が本番となる「かがやきフェス」。子ども達は、本番に向けて毎日懸命に練習を重ねてきました。校内を回ると、いたる所で曲を奏でる音や歌声が響き渡っています。また、図工科や家庭科作品の展示も見ごたえがあります。どの学年の作品にも、子ども達が課題としっかり向き合いながら、親しみを込めて作っていることがよく伝わってきます。11月2日は体育館での保護者鑑賞日、また図工科・家庭科の作品展示は、11月2日、6日、7日、8日が鑑賞日となります。今までの積み重ねを発揮し輝きわたるお子さんの姿と作品を、ぜひご参観ください。

今、1階職員室から家庭科室前の廊下には、6年生の図工作品が展示してあります。作品のタイトルは「マイ・ランドセル」です。6年間お世話になったランドセルに感謝の気持ちを込めて、丁寧に描いた作品です。作品のタイトルとともに、描いたランドセルの横には子ども達の想いを込めた言葉が添えられています。「6年間ありがとう」「いつまでも忘れない」「大切な宝物」等、その言葉にも子ども達の個性が溢れています。「作品を描きながら今までのいろいろな出来事を思い出していたのだろうか。」「統合後も変わらずに、ずっと学校で楽しんできたのだろうか。」「子ども達の楽しい思い出の横には、いつもこの『ランドセル』がいたのだろうか。」と、想像してしまいました。



下小岩小学校では、日頃から言葉を大切にすることを教えています。言葉は相手を幸せにすることもでき、心に傷を残してしまう力ももっています。軽い気持ちで使った言葉でも、相手にとってどのような影響があるのか、また周りにいる友達はどんな気持ちになるのか。授業や様々な教育活動を通じて、引き続きしっかりと指導を重ねていきたいと考えています。

アメリカの教育心理学者である「ロバート・ローゼンタール氏が提唱した研究内容に『ピグマリオン効果』という考え方があります。ピグマリオン効果とは、人は他者から期待されると、その期待に沿った成果を出す傾向にあるという心理効果を指します。このピグマリオン効果を教育に当てはめて考えると、子ども達も親や教師から期待されたり励まされたりすると、その言葉や期待に沿った成長や成果を出すということになります。子ども達に言葉の大切さを教えるだけでなく、教師自身も常日頃から言葉を大切にしていきたいと思えます。

「かがやきフェス」の鑑賞後には、お家の方からも子ども達にこれからの期待を込めた沢山の励ましの言葉を送っていただけると幸いです。今後も、地域や保護者の皆様と協力しながら、大切な子ども達の育成に力を入れていきたいと思えます。



### 【江戸川区からのお願い】

区のこれからのサービスや負担の在り方について考えるアンケートを実施しています。10月下旬に広報えどがわ特別号を全戸配布しておりますので、ご確認いただき、江戸川区の将来に向けてぜひご回答ください。



↑詳細はこちら